

や・ま・ぐ・に

「自閉スペクトラム症」って???? (第2回)

前回の自閉スペクトラム症って?というところで簡単に解説しましたが、今回は「じゃあどうやって判るの?」というところをお話しします。

自閉スペクトラム症は発達障害の中でももっとも頻度が高く、調査機関の発表によっても違いがありますが、凡そ33人に1人いるといわれています。また、女性よりも男性のほうが約4倍多いとされています。

ASD (自閉スペクトラム症) の診断について

ASDの特性は、生後2年目(12ヵ月~24ヵ月)にあらわれることが多いとされていて、早ければ1歳半検診の時に気づかれることもあります。成年になってから診断されることもあります。

ASD (自閉スペクトラム症) の診断基準

前回紹介した「対人関係や社会的なやりとりの障害」「こだわり行動」といった特性による困り事が、

- ・複数の場面で起きていること
 - ・それにより日常生活や社会生活で大変困っていること
 - ・6か月以上続いていること
- といったことが診断基準となります。

ASD (自閉スペクトラム症) の診断方法

「問診」「行動観察」「心理検査や知能検査」その他、場合によっては生理学的な検査の結果をもとに診断されます。

「問診」 普段の様子などを聞かれます。

「行動観察」 医師が遊んでいる様子などを観察しASDの特性が現れているかを判断。

「心理検査・知能検査」 さまざまなテストで発達水準や知能水準、パーソナリティなどを評価します。

通常一度の受診でなく、数日に分けて検査を行って、総合的に判断します。

ASD (自閉スペクトラム症) の治療方法

生まれつき脳機能の障害のため、完全に治るということはなく、特性に合わせた「環境調整」や「療育」といった方法により、困り事を軽減していくことを目指します。

「環境調整」 特性に合わせて環境を調整し、困り事が起きないようにする。

「療育」 其々の困り事の解決と、自立と社会参加に向けた支援をする。

簡単に言うと、本人が困らない環境で、困らない方法を探して自分らしく暮らせるように練習すること…です(´▽`*)

編集後記

野原の秋桜に秋を感じるこの頃…郷の皆様は心地良く、元気に過ごされています。とはいっても既に半世紀を生き抜いた大御所が占めるやまぐにの郷では、気持ちは逸るが身体がついていかずハラハラドキドキです。ミュージックケアでは、転びそうになった時脚が出るようにとか、不安定場所でも立位が保てるようになど、咄嗟の時に身体がついていくようにとの効果を見据えてのプログラムも取り入れています。

「何でも楽しくなくっちゃやりたくない!」・・・だからミュージックケアなんです(^_-) ☆ tera

お先にいただきまーす

早くちょうだいーい

～あうる京北でBBQ～

まだ焼けないかな～

さあ、今年もBBQへGo(^o^)/ と待ちに待っていましたが、Σ(°Д°|||)がーッ!
コロナがやってきておあずけに・・・せっかく暑くなる前にと計画していたのですが・・・

すっかり普通の生活が戻ってきたのを確認して、暑さ真ただ中BBQへ行ってきました(*´▽`*)

あうる京北のバーベキューコーナーを貸し切ったイベントです。
暑さなんて何のその…はもしかして、僕たちだけかな???

おいしいよ～(^^)

皆のためにせっせと焼きます
あ～暑い(^_^;)

メの焼きそば、こりやあ うまい
ん～おいしい!

～ミュージック・ケア～

ミュージック・ケアとは、音楽の特性の一部を利用した、その人がその人らしく生きるための援助活動です。各々の持っている力を最大限に発揮させ、発達の援助を行います。



～ミュージック・ケアのねらい～

音楽の特性を生かして、心身に快い刺激を与え対人関係の質を向上させたり、情緒の回復や安定を図ります。具体的には、○自発性・活動性の促進 ○身体の運動性の向上 ○表情や感情の表出、コミュニケーション支援 ○脳の活性化 ○リラクゼーション効果 など

さらに、運動感覚や知的機能の改善を促して、その人の心身と生活に好ましい変化を与えます。

施設でのセッション

この日は、こらぼねっと京都の伊藤先生・安里先生の下、利用者16名・支援員8名が参加してのミュージック・ケアが、郷の地域交流ホームにて行われました。

全15曲「カルメン」や「ラデッキー行進曲」のクラシックから、「ドラえもん」「365歩のマーチ」と様々なジャンルの曲に合わせて、身体全体でバランスを取ったり、リズムに合わせて身体を動かしたり・・・また、タンバリンやスカーフを使ったり、楽しみながら目的に応じた動きが取れるようなプログラムに取り組み、最後にはシャボン玉を見つめながらステキな曲をのんびり聞きました。終わるとお楽しみのジュースを飲みほっこりしました。

利用者みんなが笑顔になれ、身体も心もリラックスして充実したひと時でした。

きっと、よく眠れたことでしょう(o^ー^o)



地域でのセッション

京北地域の自治会や保育所などへの出張ミュージック・ケアも承っています。

お年寄りの皆様から幼児さんとそのご家族など、其々を対象にプログラムを構成して楽しんでいただいています。

◎この時は、地域のご高齢の方々、スタッフ合わせて28名でのセッションです。

暑い日で途中お茶の休憩もしながら、全15曲のプログラム♪ ミュージック・ケアのオリジナル曲やクラシック、行進曲中心でしたが、「ねらいうち」やテレビで使われているポップスも登場。

道具は鈴や鳴子、タンバリン、トライアングルなどの楽器、他にはスカーフ、うちわ、手拭いも使いました。合奏で皆の演奏がそろった時は自然と拍手も起こり達成感増しましのご様子。始めは緊張されていた方も、終わるころには頬は緩みとても素敵な表情をされていました。シャボン玉を使ってのクールダウンで終了！参加くださった皆様からは、「シャボン玉を見て感動しました。」「楽しかったまたやりたいです。」とほじける笑顔でお声をいただきました。

♪各町内会・PTAなどでの交流の場に伺いますので、ご相談ください♪
障害者支援施設京北やまぐにの郷 (担当：上野) TEL 075-853-0571

地域の皆様



◎保育所でのセッションでは乳児クラス、幼児クラスに分かれて行いました。

幼児クラス(10名と保育士3名保護者1名)では毎年取り組んでいる子たちも多いため、始めからしっかりとお手本通りの動きで、楽しみMAXな様子。

全10曲、オリジナル曲やクラシックの他、ドラえもんの曲などに合わせて、楽器を使いながら身体を動かしました。

体幹を意識し、皆で達成感を味わってもらえるように取り組んでいただくと、曲の終わりには笑顔でいっぱいになっていました。

終わってからもリクエストがあり、次回のお楽しみにね...と終了しました。



保育所の皆様

